

“水と緑と花のまち”

# 長井市第六次総合計画

[2024～2033年度]

概要版

みんながしあわせに暮らせる長井  
～ ずっと笑顔あふれるまち ～



# 1. 第六次総合計画の策定にあたって

## (1) 総合計画策定の趣旨

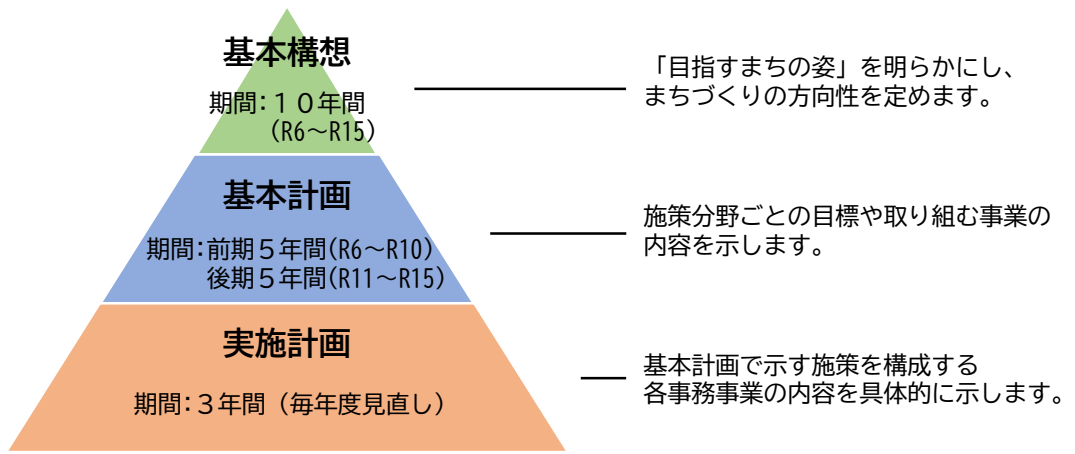
第五次全国総合計画（期間：平成26年度～令和5年度）では、将来像を「みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井 ～人にぎわい 心かよう 水のふるさと～」と定め、市民と行政が互いに協力し合いながら、市民がしあわせを感じながら暮らせることを目指したまちづくりを進めてきました。

しかし、私たちを取り巻く環境は、大きく変化してきています。少子化等による人口減少の進展、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うライフスタイルの多様化、デジタル技術の高度化、多様性を認め合う社会の実現に向けた機運の高まりなどが社会や経済に広く影響を与えています。

また、近年激化する自然災害や事故などから、市民の生命を守るという安全安心の取り組みの重要性が増しています。

こうした動きに的確に対応するとともに、これからの市政運営における長期的な展望を明確に掲げ、令和6年度からスタートする新たな総合計画を策定する必要があります。

## (2) 計画の構成と期間



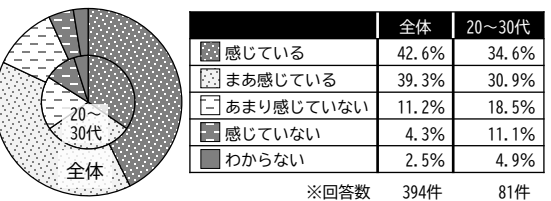
# 2. 市民の意向

## (1) 令和4年度市民アンケート調査結果

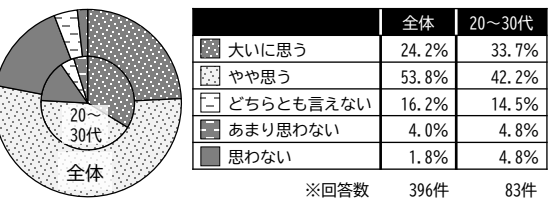
長井市への愛着について、「感じている」「まあ感じている」を合わせると、全体で81.9%の人が愛着を感じており、20～30代では65.5%とやや低くなっています。

しあわせだと感じている人は、「大いに思う」「やや思う」を合わせると78%であり、高い割合となっています。

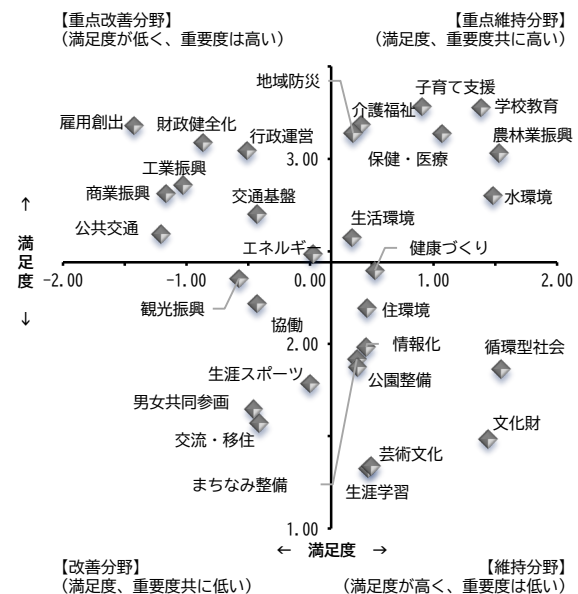
問：長井市に「自分のまち」といった愛着、親しみを感じていますか



問：あなたは、「幸せ」だと思いますか



市の取り組みの満足度・重要度



## (2) 市民からの主な意見

令和4年度に実施した「市民まちづくりワークショップ」及び「地区まちづくりワークショップ」において出された主な意見を要約すると以下のとおりです。

- 昔ながらの良いところと新しい取り組みが共存しながら、まちが成長してほしい。
- 地区出身の東京在住者とコラボ事業をしてはどうだろう。
- 自分たちが自慢できるまちにするため、こともと子育てに重点を置いてほしい。
- 企業誘致やサテライトオフィス等で若者が働きたいと思える環境にしたい。
- 地区の外だけでなく、地区の人にも情報を発信していきたい。
- 移動式の店舗が地区に来てくれるといいな。
- 10年後は地区の住民がかなり少なくなってしまうのでは。
- 10年後に空き家や耕作放棄地が増えていそうで心配。
- 田んぼや桜といった景観、伝統文化等の長井の良さを将来に残したい。

市内の中学生が参加した令和4年度の「長井の未来を育む少年会議」において出された主な意見を要約すると以下のとおりです。

- 閑散期の秋と冬にぎわう観光イベントを開催してほしい。
- 自然を活かしたイベントを通して楽しみながら自然の大切さを知ってもらいたい。
- カップル向けにデートスポットマップを作ってほしい。

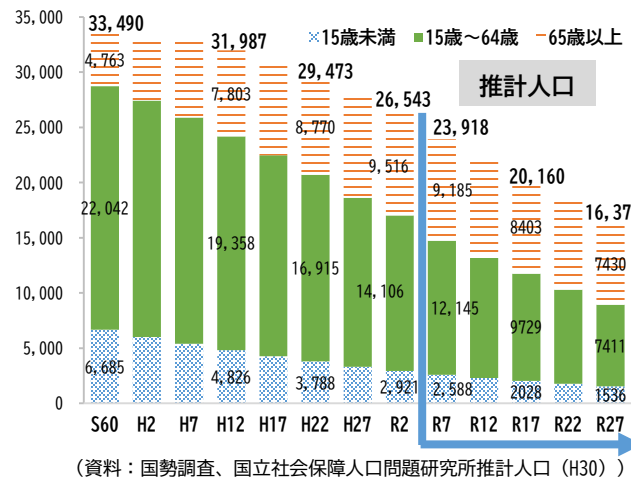
# 3. 現在の長井市の姿と将来の見通し

## (1) 人口

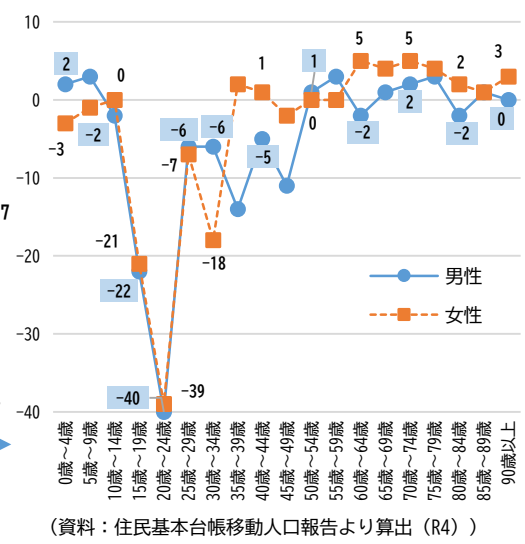
長井市の人口は、平成22年には29,000人を切るなど、人口減少が急激に進んでいます。年代別に見るとこども世代(15歳未満)と成年世代(15～64歳)が減少する一方で、高齢者世代(65歳以上)の増加が進み、人口に占める高齢者の割合が上昇しています。

将来の見通しについては、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、長井市の人口は令和7年には24,000人を下回るとされています。

人口の推移と今後の推計



男女別・年代別の社会増減数の推移



# 4. まちづくりの課題

前章まででまとめた市民の意向や長井市の現状を踏まえるとともに、長井市がこれまでに大切にしてきた地域資源(豊かな自然環境や文化、産業、レインボープランに代表される循環の理念の浸透など)やSDGsの達成といった社会的な潮流を勘案し、これからのまちづくりに求められる課題を以下のとおり整理します。

- (1) 市民の健康と安全安心の確保
- (2) 誰一人取り残さない社会の実現
- (3) 交流と定住の促進
- (4) 暮らしやすさの向上
- (5) デジタル技術の活用

# 5. 目指すまちの姿

## (1) まちづくりの基本理念

まちづくりの課題を克服していくには、行政施策を推し進めると同時に、**市民と行政が積極的に関わり合い、ともにまちづくりに取り組むことが重要**です。

市民によるまちづくりへの参画を後押しするための原動力は郷土を愛する心です。長井市は、恵まれた自然環境のもと、先人たちの努力によって文化・産業が築きあげられ、活力ある「水と緑と花のまち長井」として発展し、市民の誇りが醸成されてきました。この理念を継承していくため、第六次総合計画においても「**水と緑と花のまち**」を次世代へとつなぐとともに**発展させていき、より良いまちを創り上げていけるよう**取り組んでいきます。

また、課題を克服することは、市民の「しあわせ」を高めていくことにつながります。そのため、市民とともに取り組むまちづくりによって、一人残らずすべての市民がしあわせを感じられる暮らしの実現を進めていくことが必要です。さらに、現在の市民だけでなく将来の世代もしあわせな暮らしを続けていけるように、持続可能な長井市を追求していくことも大切な要素となります。

以上のことから、第六次総合計画におけるまちづくりの方向性として次の2つを掲げます。  
**・すべての市民がしあわせを感じて暮らせるまちを創る**  
**・10年後、20年後、その先の未来もしあわせを感じて暮らせるまちを目指す**

## (2) まちの将来像

市民の思いやまちづくりの課題を踏まえ、長井市がこれからの10年間で目指していく将来像を以下のとおり定めます。

みんながしあわせに暮らせる長井  
～ ずっと笑顔あふれるまち ～

「みんながしあわせに暮らせる長井」  
 ・国籍、性別、障がい等にかかわらず、互いに認め合い、誰もが活躍できるまちを目指します。  
 ・市民のしあわせを市民とともに創りあげていくまちを目指します。  
 ・急激な人口減少にならないよう、市民のニーズに適切に対応し、定住意向が高まるまちを目指します。

「ずっと笑顔あふれるまち」  
 ・子どもからお年寄りまで、健康で安心して暮らすことができ、笑顔があふれるまちを目指します。  
 ・SDGsの達成を目指し、将来の世代を考えた取り組みを進めていくことで、持続可能なまちを目指します。

# 6. まちづくりの基本目標

目指すまちの姿を実現していくために、分野ごとの基本目標を次のとおり定めます。「4. まちづくりの課題」で挙げた5つの課題は、分野を横断した課題として捉え、それぞれの基本目標のなかで5つの課題を念頭に置いた取り組みを進めていきます。

- 基本目標1 「安心して健やかに暮らせるまちづくり」 (健康・安心分野)
- 基本目標2 「夢を育み元気に活躍できるまちづくり」 (教育・生涯活躍分野)
- 基本目標3 「産業の活力あふれるまちづくり」 (産業・しごと分野)
- 基本目標4 「住みやすく住み続けたくなるまちづくり」 (社会基盤分野)
- 基本目標5 「ともに創る持続可能なまちづくり」 (市民活動・行政分野)

# 7. 前期基本計画について【計画期間：令和6年度～令和10年度】

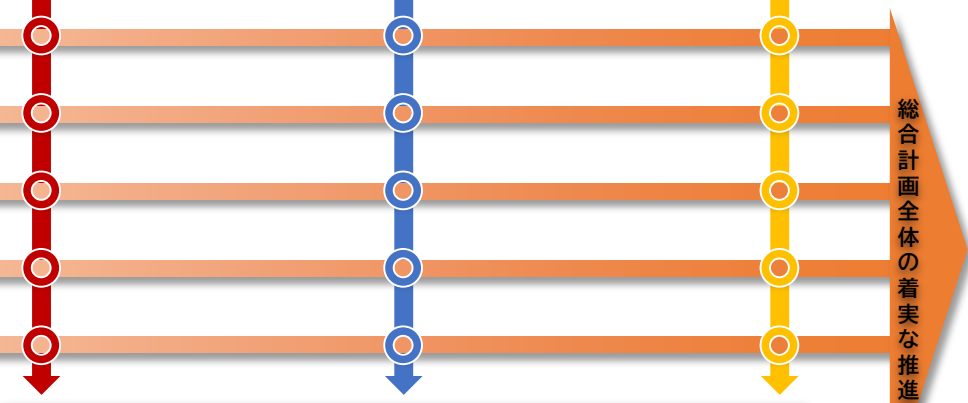
## (1) 重点戦略

行政経営資源（予算・人材）の選択と集中によって、前期基本計画期間内（令和6年度～令和10年度）に様々な課題の解決に向けて重点的・優先的に取り組む事業を重点戦略として示します。分野を横断して事業に取り組み、他の施策を牽引し、総合計画全体の着実な推進を先導していきます。

今後さらに施策効果を発現させていくためには、まちを形作る一員である市民一人ひとりがまちづくりに参画し、市民と行政の力を結集させていくことが不可欠です。そのため、第六次総合計画では、市民の行動を喚起し、市民のアクションを最大限に活かしていくことを念頭に置いた取り組みを重点戦略に位置付け、将来像の実現と人口減少社会への対応を目指します。

	若者が活躍できるまちプロジェクト	世代を超えて支え合うまちプロジェクト	長井の魅力を活かすまちプロジェクト
主な取り組み	<b>①教育・子育ての満足度向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊びと学びの交流施設「くるんと」における子育てサポートの充実</li> <li>子育て世代の負担軽減に向けた保育や学校における支援の充実</li> <li>英語教育やICT教育、キャリア教育などの魅力的な教育環境づくり</li> </ul> <b>②ニーズに合った住まいの提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>良質な住環境の提供や住宅取得・リフォームへの支援</li> </ul> <b>③長井で働く魅力の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者や農業者への支援</li> <li>新産業団地の整備や企業誘致による魅力的な働き先の確保</li> <li>起業創業の支援やテレワーク環境の情報発信による多様な働き方のサポート</li> </ul>	<b>①地域における各種活動の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における健康・福祉・防災等の地域づくり活動への支援</li> <li>自主防災組織の機能強化</li> </ul> <b>②関係団体との連携による支え合いの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校やこどもを縁としたコミュニティづくり</li> <li>除雪など生活に困りごとのある高齢者や要援護者を支える体制の充実</li> </ul> <b>③デジタル技術の活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルを活用した便利で安心なまちづくり</li> </ul>	<b>①中心市街地の活性化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の公共施設（くるんと、タス、川のみなど長井、市民文化会館、旧長井小学校第一校舎など）への誘客促進</li> <li>商店街へと回遊しやすくなるまちなかの魅力向上</li> </ul> <b>②交通ネットワークの確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市営バス・フラワー長井線の安全安心な運行と持続的な運営</li> </ul> <b>③芸術・文化や地域の特色の活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における観光客受け入れ体制の構築</li> <li>重要文化的景観に選定された町場景観や文化財を活用した誘客促進</li> <li>地域における交流や人材育成などの地域づくり活動への支援</li> </ul>
市民のアクション	出産や子育てに困ったことがあったら市役所などに気軽に相談してみよう！ くるんとや旧長井小学校第一校舎などで開催されるさまざまな学習活動に参加してみよう！ 地域で行う美化活動に参加してみよう！ 自分が一層活躍できる働き方にチャレンジしてみよう！	困っていそうな人がいたら、他人事にせず声をかけてみよう！ 登下校時のこども達にあいさつするなど、地域でこどもの学びや成長に関わりましょう！ デジタルを活用する行政サービスを利用してみよう！	まちなかや地域のイベントに参加してみよう！また、仲間と一緒にイベントを企画してみよう！ 地元で買うことを意識してみよう！ 地域のお祭りなどに参加してみよう！ 市内の公共施設や市営バス・フラワー長井線を積極的に利用しよう！
効果	若者が定着し、次の世代へと命が続いていくことで <b>“まちの未来を紡ぐ”</b>	支え合いの機会や場の創出によって <b>“市民同士のコミュニティを紡ぐ”</b>	市民の活躍を後押しし、にぎわいを生み出すことで <b>“活力あるまちと心豊かな暮らしを紡ぐ”</b>

3つの重点戦略に基づき、分野を横断した事業に取り組むことで他の施策を牽引していく



重点戦略の共通する目標  
「一人ひとりが輝く インクルーシブなまちづくり」

## (2) 分野ごとの主要施策

目指す姿の実現に向けて、前期基本計画期間（令和6年度～10年度）に実行する主な手段を主要施策として表しています。

表の見方

施策の分野を表しています

1-① 防災・危機管理

- 危機管理体制の充実
- 地域防災力の強化
- 消防活動の充実強化

分野ごとの主要施策を表しています。

分野の施策を実施することにより達成が見込まれるSDGsゴールを表します。

## 基本目標1 安心して健やかに暮らせるまちづくり

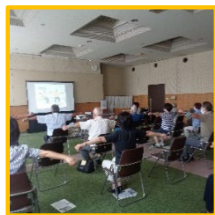
1-① 防災・危機管理

- 危機管理体制の充実
- 地域防災力の強化
- 消防活動の充実強化



1-④ 保健・医療

- 健康づくり、生活習慣病等予防対策の普及
- 妊娠・出産・子育て期まで切れ目ない支援
- 地域医療体制の充実
- 公的医療保険の健全な運営



1-② 環境・エネルギー

- 住みよく環境にやさしいまちづくり
- 地球温暖化対策による環境保全の推進
- 持続可能な循環型社会の形成



1-⑤ 福祉

- 支え合いの地域福祉と福祉サービスの充実
- 高齢者の暮らしを見守り、支える仕組みづくり
- 障がいがあっても安心して生活できる体制づくり
- 低所得者の自立へ向けた支援



1-③ 交通安全・防犯・相談

- 交通事故の無い安全なまちづくり
- 犯罪の無い安全なまちづくり
- 市民の悩みや相談ごとの適切な対応



1-⑥ 子育て

- 安心して産み育てられる環境づくり
- 次世代を担うこども達の保育の充実
- 子育てに安心とゆとりを持てる支援



## 基本目標2 夢を育み元気に活躍できるまちづくり

2-① 学校教育

- こども達の豊かに生きる力としなやかな心の育成
- 一人ひとりの特性を尊重する共生の理念に基づく教育環境づくり
- こども達が安全で快適に過ごせる教育環境づくり
- 安全・安心でおいしい給食の提供



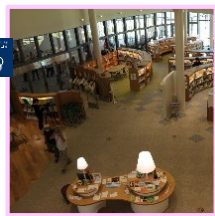
2-③ 文化・芸術

- 文化財の保存・活用
- 芸術・文化活動の推進



2-② 社会教育

- 生涯学習の機会の提供
- 地域における社会教育活動の充実



2-④ 生涯スポーツ

- 誰もがスポーツを楽しむことができる機会の創出
- スポーツ施設の充実



## 基本目標3 産業の活力あふれるまちづくり

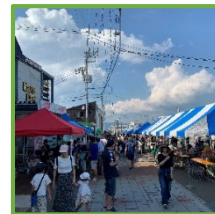
3-① 農林業

- 優良な農地の確保
- 就農者の確保
- 安定的な農業経営の実現
- 環境にやさしい農産物のブランド化
- 森林の活用と保全の推進



3-③ 商業・サービス業

- まちの賑わいと魅力の創出



3-④ 観光

- 持続可能な観光地域づくり
- 観光資源の活用と磨き上げ
- 情報発信力の向上



3-② 流通業

- ものづくりの担い手の創出
- 新産業団地への企業誘致と地元企業との連携促進



3-⑤ 雇用

- 安心して働き続けるための支援



## 基本目標4 住みやすく住み続けたいまちづくり

4-① 都市・住まい

- 快適で利便性の高い都市機能の整備
- 景観を活かしたウォーカブルなまちづくり
- 安心して快適な住環境の充実



4-③ 上下水道

- 安全安心な水道の安定供給
- 環境を守る排水処理の確保・促進



4-② 道路・河川

- 安全な道路・橋りょうの維持
- 流域治水の観点に立った準用・普通河川の維持



4-④ 公共交通

- ニーズに応える市営バスの運行
- フラワー長井線の持続可能な運営



4-⑤ 公共施設

- ライフサイクルコストを低減する公共施設の整備と運営管理

## 基本目標5 ともに創る持続可能なまちづくり

5-① 交流・定住

- 多様な交流機会の創出
- 関係人口拡大に向けた持続的な関係づくり
- 移住・定住に向けたサポート体制の強化



5-③ 広報・広聴

- 効果的で効率的な情報発信
- 市民と行政の意見交換の機会の充実



5-② 地域づくり

- 持続可能な地域運営
- 男女共同参画社会の実現に向けた理解促進と環境整備
- 長井ダム周辺の活用と環境整備
- 空き家の活用促進



5-④ デジタル

- 行政のデジタル化
- スマートシティの推進
- マイナンバーカード活用等による快適な窓口サービスの推進

5-⑤ 行財政

- 効率的な行政運営
- 周辺自治体との広域連携
- 職員の資質と意欲を高める人材育成
- 効果的で効果的な財政運営

# 8. 主な策定経過

## (1) 会議

日付	区分	内容
<b>振興審議会</b>		
R4.5.26	令和4年度 第1回	委員の任命、市長講話
R4.8.23	令和4年度 第1回専門部会（文教・総務）	第五次総合計画の総括
R4.8.29	令和4年度 第1回専門部会（総務・産業・建設）	第五次総合計画の総括
R4.9.13	令和4年度 第2回	第五次総合計画の総括
R4.12.5	令和4年度 第3回	経過報告、市民アンケート結果報告 第六次総合計画の骨格（案）、将来像の検討
R5.3.16	令和4年度 第4回	経過報告、ワークショップ等実施報告 第六次総合計画の将来像（案）
R5.6.6	令和5年度 第1回	経過報告 基本構想（素案）、基本計画の枠組み、評価方法
R5.9.5	令和5年度 第2回	基本構想（案）、前期基本計画（案）

## (2) ワークショップ等

日付	区分	内容
<b>① 市民まちづくりワークショップ</b>		
R4.6.28	第1回 [講師：山形大学人文社会科学部 下平裕之先生]	・市長講話 ・グループワーク「長井の良いところ、課題」
R4.8.9	第2回 [講師：山形大学大学院理工学研究科 佐藤慎也先生]	・講義「子ども環境」 ・グループワーク「30年後の長井市は？」等
R4.10.3	第3回 [講師：山形大学大学院理工学研究科 高澤由美先生]	・講義「観光地域づくり」 ・グループワーク「ペルソナ目線での観光と改善点」
R4.11.25	第4回 [講師：山形大学人文社会科学部 本多広樹先生]	・講義「地図を使って地域課題を考える」 ・グループワーク「地図上への課題のまとめ」等
R5.1.23	第5回 [講師：山形大学人文社会科学部 下平裕之先生]	・講義 ・グループワーク「長井市の将来像を考える」
<b>② 地区まちづくりワークショップ</b>		
	第1回	・市長（副市長）講話 ・グループワーク「地区の良いところ、課題」
	第2回	・グループワーク「地区の良いところ・課題」のとりまとめ、地区の将来像」
	第3回	・グループワーク：「地区の将来像」、グループ発表
各地区の実施経過		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央地区：第1回 R4.8.22 第2回 R4.11.22 第3回 R4.12.12 [講師：本多広樹先生]</li> <li>・致芳地区：第1回 R4.11.18 第2回 R4.12.15 第3回 R5.1.19 [講師：佐藤慎也先生]</li> <li>・西根地区：第1回 R4.11.30 第2回 R4.12.14 第3回 R5.1.18 [講師：佐藤慎也先生]</li> <li>・平野地区：第1回 R4.8.25 第2回 R4.9.27 第3回 R4.11.28 [講師：高澤由美先生]</li> <li>・伊佐沢地区：第1回 R4.8.29 第2回 R4.10.6 第3回 R4.12.22 [講師：本多広樹先生]</li> <li>・豊田地区：第1回 R4.8.23 第2回 R4.9.29 第3回 R4.11.11 [講師：高澤由美先生]</li> </ul>		
<b>※ 長井の未来を育む少年会議</b>		
R5.2.5 2.11	グループワーク	・こども達が自立性をもって未来を考える場として実施 ・市内中高生でグループを形成(4人×4班)し、市職員がフォローとして参加
R5.2.12	発表会	・「これからの長井市を良くする提案」と「自分たちにできること」を意見交換 ・実現した場合に達成できるSDGsのゴールをまとめ、市民に向けて発表会を実施

各回の参加者数	合計	市民WS	地区WS	中央	致芳	西根	平野	伊佐沢	豊田	WSに参加した山形大学の学生	※少年会議	
	232名	35名	136名	20名	26名	28名	23名	22名	17名	37名	24名	
参加者の年代	合計	～20歳	21～60歳	61歳～								
	232名	55名	121名	56名								



## (3) 市民アンケート

目的：市の政策に対して、市民が感じている思い（施策の満足度・重要度等）を把握し、今後の施策に活かすとともに必要に応じて事務事業の見直しや改善を図り、一層の効率的な行政運営を図る。 ※平成24年度から隔年実施。  
 対象：20歳以上の長井市在住者1,000人（無作為抽出） 回収率：40.0%（回収数：400票） 期間：R4.7.1～7.29